

平和祈念事業アドバイザーボード（第6回）議事要旨

1 日 時：平成23年10月27日（木）14：00～16：00

2 場 所：新宿住友ビル スカイルーム（47階）

3 出席者：（委員）

- ◎ 亀井 昭宏（早稲田大学商学学術院教授）
- 黒沢 文貴（東京女子大学現代文化学部地域文化学科教授）
- 田久保忠衛（杏林大学名誉教授）
- 堀川 末子（弁護士）
- 水嶋 英治（常磐大学大学院教授）
- 横堀 裕之（公認会計士）

[敬称略、◎は座長]

（総務省）

- 田家 修 官房審議官
- 北原 久 特別基金事業推進室長

4 議事次第

- （1）企画展「従軍カメラマン・小柳次一写真展」他 資料館視察
- （2）資料館イメージ（館名表記の書体・色）の提案等
- （3）平成22年度実績、平成23年度実績・見込報告及び中期事業計画の提案等
- （4）今後の予定

5 議事要旨

- （1）企画展「従軍カメラマン・小柳次一写真展」他 資料館視察
企画展及び平和祈念展示資料館の運営の現状等について説明が行われた。
- （2）資料館イメージ（館名表記の書体・色）の提案についての説明
資料に基づき、23年度事業者から資料館イメージ（館名表記の書体・色）の提案について説明が行われた。
- （3）平成22年度実績、平成23年度実績・見込報告及び中期事業計画の提案についての説明
23年度事業者から「平成22年度実績、平成23年度実績・見込報告及び中期事業計画の提案」について説明後、意見交換が行われた。

委員の主な発言等は以下のとおり。

- 常設展示室内の企画展コーナーを見て、ディスプレイは特に、さすがという印象を持った。
- いずれは、他館との資料館ネットワーク等の戦略的な運営のマネジメント方針を考えるべき。
- 基本的には物が重要であるので、展示資料にはもう少し充実を図る必要がある。
- 舞鶴との交流企画展は、引揚げに理解が少ない来館者向けには、長期的に行った方が良い。
- 講演会やフォーラム等のイベントは、平和祈念事業の範囲を超えないか、資料館の趣旨を踏まえ、慎重に扱うべきである。
- 館内イベントの絵葉書でメッセージを書いてもらうというアイデアは悪くないが、単純に掲示するのは難しいところがあるのではないか。

(4) その他

今後の予定について、事務局から説明が行われた。